

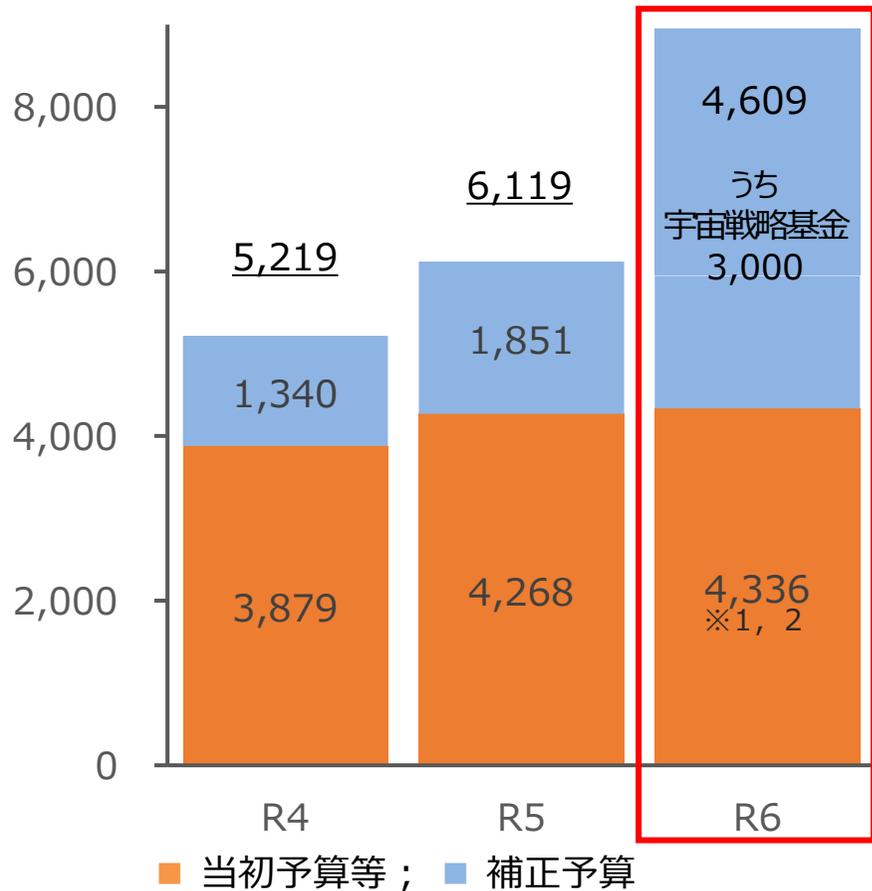
令和6年度当初予算案及び令和5年度補正予算における宇宙関係予算

合計 8,945 億円（対前年度比 2,826億円増 [+46%]）
 令和6年度当初予算案等（※1, 2）4,336億円 + 令和5年度補正予算（※3）4,609億円）
 （令和5年度当初予算 + 令和4年度補正予算 6,119億円）

（単位：億円）

8,945

（四捨五入の関係で合計額は必ずしも一致しない。）



府省名	R5 補正		R6 当初 (案) 等		合計(億円)	
		対前年		対前年		対前年
1. 内閣官房	275	+100	622	-3	897	+97
2. 内閣府	171	-19	200	-1	370	-21
3. 警察庁	-	-	9	0	9	0
4. 総務省	290	+193	108	+12	398	+205
5. 外務省	-	-	3	0	3	0
6. 文部科学省※1	2,104	+1,465	1,630	+103	3,734	+1,568
7. 農林水産省	37	-31	52	+18	89	-13
8. 経済産業省※2	1,260	-	382	+171	1,642	+1,431
9. 国土交通省	462	-200	191	-25	653	-225
10. 環境省	1	-19	62	-5	72	-15
11. 防衛省	-	-	1,077	-201	1,077	-201
合計	4,609	+2,758	4,336	+68	8,945	+2,826

※1 「SBIRフェーズ3基金」のうち、令和5年度中に配分が確定した宇宙関係事業の令和6年度執行予定額111億円を含む。

※2 「経済安全保障重要技術育成プログラム」及び「SBIRフェーズ3基金」のうち、令和5年度中に配分が確定した宇宙関係事業の令和6年度執行予定額196億円を含む。

※3 宇宙戦略基金を含む。

主な予算項目（各府省別）

全府省庁合計：8,945億円

※ 各金額は四捨五入によって算出

【内閣官房】	897億円	【農林水産省】	89億円
● 情報収集衛星の開発・運用	897億円	● スマート農業技術の開発・実証・実装プロジェクト	30億円
【内閣府】	370億円	● 地理情報共通管理システム（eMAFF地図）の利用の推進	29億円
● 準天頂衛星システムの開発・整備・運用	240億円	【経済産業省】	1,642億円
● 宇宙開発利用推進費	120億円	● 宇宙戦略基金（経産省計上分）	1,260億円
● 中央防災無線網の運用等	3億円	● 小型衛星等の競争力強化に向けた研究開発	16億円
【警察庁】	9億円	● マイクロ波無線電力伝送による 宇宙太陽光発電システムの開発	4億円
● 高解像度衛星画像解析システムの運用等	9億円	※この他、Kプロ及びSBIRフェーズ3基金の執行予定額 合計196億円を含む	
【総務省】	398億円	【国土交通省】	653億円
● 宇宙戦略基金（総務省計上分）	240億円	● 準天頂衛星システムを利用した 衛星航法サービスの高度化	10億円
● 10Gbps級の高速光通信技術の開発	300億円の内数	● 人工衛星の測量分野への利活用	62億円
● 次期静止気象衛星に搭載する宇宙環境計測装置の開発	4億円	● 静止気象衛星ひまわりの運用等	25億円
【外務省】	3億円	● 次期静止気象衛星の整備	214億円
● 衛星画像判読分析支援、宇宙分野の外交政策の推進	3億円	【環境省】	72億円
【文部科学省】	3,734億円	● GOSATシリーズによる地球環境観測事業等	52億円
● 宇宙戦略基金（文科省計上分）	1,500億円	【防衛省】	1,077億円
● H3ロケットの開発・高度化	263億円	● 宇宙領域把握（SDA）衛星の整備	121億円
● イプシロンSロケットの開発	97億円	● 画像解析用データの取得	233億円
● 将来宇宙輸送システムロードマップ実現 に向けた研究開発	27億円	● 衛星通信システムの抗たん性向上	74億円
● 温室効果ガス・水循環観測技術衛星（GOSAT-GW）	119億円	※ 宇宙戦略基金の創設 合計 3,000億円	
● アルテミス計画に向けた研究開発等	261億円		
● うち有人と圧ローバ開発のフロントローディング	40億円		
● うち火星衛星探査計画（MMX）	50億円		
● 深宇宙探査実証機（DESTINY+）	35億円		

※この他、SBIRフェーズ3基金の執行予定額合計111億円を含む。